

平成20年11月1日号

No.74

11-1



伝える手作りの味と心

10月15日、日本文化体験旅行で横浜市から来た子供たちが栄地区で再生された「大屋納豆」作りにも挑戦しました。納豆作りの難しさと楽しさを体験した子供たち。大屋納豆保存会の皆さんの巧みな手さばきに見入っていました。

「食育」は生きる力を育てます



interview
インタビュー

横浜市栄養教諭
佐々木景子さん
(ささき けいこ)

栄養士として学校給食にたずさわり、平成20年から横浜市では初めてとなる栄養教諭に任命。全市37校を担当する。2人の小学生の母でもある。

「食育」とは、食の正しい知識を得て、自分で生きていく力を持った人を育てることです。現代社会では、多くの食材が氾濫し、同じように情報もあふれています。子どもたちは、食に関する言葉や名前を断片的にはよく知っていても、実はテレビで聞きかじった程度の知識でしかないことが多いのです。家族など身近な人たちからの知識も、以前ほどは得られなくなっています。特にここ数年は、地域の郷

土食や和食を、「食べたことがないから食べられない」という子どもたちが増えてきました。そんなとき、学校の友だちや先生の応援は大きな力になります。学校給食にはたくさんの方の手がかかっています。地域の人たちの手がかかっています。地域で育った野菜だよねというだけで、子どもたちの目は輝いてきます。生きる力を育む「食育」には、必要性和ともに大きな可能性を感じています。学校給食は、食育を進めるための最も有効な手段と言えるのではないのでしょうか。

地産地消スクールランチメニュー

地域の食文化を知ってもらおうと、横浜の豊富な食材を活用した学校給食メニューを季節ごとに4種類作成し、実際に給食として提供しています。地場産品をふんだんに使った、目にもおいしい学校給食の優等生です。

●春の献立

発芽玄米入りごはん
牛乳
かど(ニシン)焼き
フキの煮物
若竹汁
リンゴのコンポート
サクランボ
(エネルギー742キロカロリー)

学校給食はいま

おしえて!!

学校給食の場は、大きく変わるころとしています。そこでは、かつての給食のイメージが大きく変えるさまざまな動きが始まっています。お昼ごはんを提供するだけではなく、「食育」を担う存在として注目が集まる学校給食の、昔と今をおさらいします。

給食のはじまりと広がり
山形県の小学校が、子どもたちにおにぎりや漬物などを出した学校給食のはじまりは、明治22年のことでした。その後学校給食は日本中に広まり、物資不足で休止した戦時中を経て、脱脂粉乳や小麦粉など国際社会からの援助物資を使って再開され、昭和27年4月からは、全国すべての小学校で完全給食の実施に向けた動きがはじまります。昭和29年には、学校給食法で給食が教材として学習の中

に位置づけられます。食事についての正しい理解や望ましい習慣を育み、学校生活を豊かにして明るい社交性のかん養を目的にうたうことで、給食が教育の一環であることが宣言されました。
横浜市での学校給食は、平成17年の合併を機に旧市町村の8給食センターが、横浜市各地区学校給食センターとなり、給食費も統一して新たな歩みをはじめました。

学校給食のあゆみ年表

明治22年(1889)	鶴岡市の私立忠愛小学校が全国初の学校給食を実施
昭和7年(1923)	「学校給食臨時施設方法」で国が初めての学校給食を実施
昭和21年(1946)	戦後の学校給食再開。東京・神奈川・千葉で試験的に
昭和22年(1947)	アメリカからの脱脂粉乳で全国の都市300人に給食開始
昭和27年(1952)	全国すべての小学校で完全給食に向けた動きが始まる
昭和29年(1954)	「学校給食法」の公布で給食が教育として位置付けられる
平成8年(1996)	全国で病原性大腸菌O157による集団食中毒が発生
平成17年(2005)	「食育基本法」が制定される

横浜市学校給食のあらまし

- 小学校 (給食費 1食あたり240円)
食数 1日約5,500食(児童と職員等を含む)
年間1人当たり185食を提供します
- 中学校 (給食費 1食あたり270円)
食数 1日約3,000食(生徒と職員等を含む)
年間1人当たり185食を提供します

給食費は食材の実費で、光熱費や人件費は含まれません。教材費として保護者からご負担いただいています。



「いただきます」を守りたい

いま、世界的に「食」への注目と関心が集まっています。命を育み、心と体を育てる学校給食。それは地域を担う子どもたちに最も身近な「食」のかたち。そして、食をめぐる地域の指標であり縮図でもあります。学校給食の現在と未来をともに考えてみましょう。「いただきます」の元気な声を、いつまでも守るために。

安心の広がりを感じています



interview
インタビュー

横手市
和泉ひろみさん
(いずみ ひろみ)

小学校6年生の子を持つ母。食の課題に関心が高く、給食にも問題意識を持つ。11月15日開催の食のイベント「よこての食べかた」の実行委員でもある。

「学校給食が変わったな」と思ふことがあります。いま大学生の息子が小さかった頃比べると、地産の野菜が多く出るようになりました。顔の見える人たちが作った食材で給食ができるというのはとてもうれしいこと。ついでに言えば、調理員さんたちの顔も見え形がベストだとは思いますが。

納豆汁などの残食の多さは気になります。家庭で食べなくなっているのでしょうか。食生活の変化を感じますね。

教育としての学校給食も大きく広がっているようです。食器の置き方の指導や校内放送の食材の紹介など、どんないい方向に進んでいます。これからは、家庭と給食センターの互いの顔が見えるような交流の深まりを期待したいですね。食育の場としての学校給食と交流できれば、そこから家庭の食や生活の質も変化していくのではないのでしょうか。

これからも、食に関心のある仲間の皆さんと、学校給食に注目していきたいと思っています。



運搬車への迅速な積み込み作業(横手学校給食センター)



各学校への配送を前にコンテナ内を入念にチェック



目で確かめる洗浄作業(横手学校給食センター)

バイキング給食は食べ放題？

バイキング給食は、何種類かの中からバランスよくおかずを選び取るという食育の学習の一つ。食べる量を競うものではありません。ホテルなどのバイキングでも、何度も料理を取りに立つのはほめられることではありません。まして料理を山盛りにとったあげく残したりするのは完全なマナー違反。食育の面からも不合格です。

給食あれこれ

ボール箱は調理場内には搬入させませんし、生ものは5度から10度以内の、品目によって定められた温度を保っているかを温度計でチェックされます。食材は汚れが落ちるまで繰り返し手作業で洗浄し、皿1枚、箸1本まで目で見て確認します。

それでも発見できずに、本来給食に入るべきではないものが混じってしまうことがあります。その際は、原因を確かめて再発防止をはかるとともに、原因が食材にある場合は納入業者に調査を依頼し、報告書の提出とともに再発防止を確約させています。

給食の情報公開する

これまでは、学校給食に関わるさまざまな経過が見えにくくという現実がありました。学校給食センターでは、給食の情報公開するために保護者の皆さんから給食のメニューを試食いただく試食会や調理の工程をご覧いただけるセンター見学などを随時受け付けています。自由なご感想や質問をいただくことで、安全・安心の透明度をさらに高めたいというのがセンターの願いです。



安全な給食を提供します(平鹿学校給食センターの皆さん)

平鹿学校給食センターの皆さんが、安全な給食を提供しています。給食の材料を納入する食業者から、徹底した衛生管理が求められる調理員、搬送担当のドライバー、そして事務担当者にいたるまで、給食には多くの人々の安全への努力と祈りがこめられています。安全と安心を守る取り組みを取材しました。

産地・食品偽装から守る

献立にもとづいて食材を発注する栄養士は、同じ品質なら少しでも安い品をと、情報を集めながら工夫を重ねていますが、産地偽装の話題と前後して、横手市の学校給食から

異物の混入から守る

各センターの調理員は、食材がセンターに運び込まれた時点から、異物の混入などがないか厳しい目を光らせています。納品の時のカゴやダン

夏の献立
ゆかりごはん
牛乳
ウインナーとアスパラの串焼き
夏野菜サラダ
米麺入りすまし汁
スイカ
(エネルギー708キロカロリー)

給食の安全・安心

だいいじょうぶ？

給食を語る上で、最も大切なことは、安全で安心な給食の提供です。

給食の材料を納入する食業者から、徹底した衛生管理が求められる調理員、搬送担当のドライバー、そして事務担当者にいたるまで、給食には多くの人々の安全への努力と祈りがこめられています。安全と安心を守る取り組みを取材しました。

病原菌から給食を守る

平成8年、全国の給食センターを震え上がらせる事件が起きました。

腸管出血性大腸菌O157の大流行です。45都道府県で9,500人も患者と10人の死者を出した騒動は学校給食の現場にも及びました。

これを契機に、横手市の各学校給食センターの衛生管理は以前に増して徹底されるようになり、毎日の調理には詳細な記録が残されるようになりました。今も継続しているその防疫体制によって、現在まで横手市学校給食からの発生は確認されていません。

ほぼ毎冬のように流行しているノロウイルスも脅威のひ

食をおびやかすキーワード

●O157
平成8年5月に岡山県の学校給食が原因の食中毒事件で知られるようになった腸管出血性大腸菌。加熱不十分な食材から感染し、少数の菌でも発症して感染症や食中毒を引き起こす。感染者の便などからも簡単に二次感染が起きる伝染性の強い病原菌。

●ノロウイルス
口から感染して、伝染性の胃腸炎を起こす。感染後死亡するような事態は少ないが、治療は発見されていない。学校給食では調理員の十分な手洗いや、調理器具を衛生的に保つことなどで効果的な感染予防ができる。

●中国製冷凍ギョーザ
千葉と兵庫の3家族が市販されていた中国製の冷凍ギョーザを食べた後、吐き気や下痢など食中毒の症状を訴え、9人が入院した。その後、有機リン系の農薬が混入していたことが判明した。

●事故米転売
事故米として転売を禁じられていた輸入米が、殺虫剤メタドホスに汚染されたまま転売され食材の原料として流通していた事件。給食納入用の食材に使用していた会社があり問題になった。

●メラミン混入
メラミンは、熱で硬化する合成樹脂(メラミン樹脂)の原料として知られる化学物質。中国産食品で製品のタンパク質の含有量を偽装するために使われたとされ、中国製ペットフードや粉ミルクが原因の事故が報告されている。

ら安価な外国製品は締め出される傾向にあります。

すべての外国製品が好ましくないという判断ではなく、産地が不明瞭なものや流通経路に疑問があるものなどは、順次取り扱いを控えるようにしています。外国製品から国産品に切り替えたことで、大幅な値上がりにつながった例もありますが、価格を優先しても安全を後回しにすることはありません。

横手の収穫カレンダー

野菜	種別	5	6	7	8	9	10	11	12
ホウレンソウ									
ジャガイモ									
ネギ									
モロヘイヤ									
キャベツ									
ハクサイ									
ブロッコリー									
カリフラワー									
ダイコン									
タマネギ									
ナス									
トマト									
キュウリ									
カボチャ									
アスパラガス									

果物	種別	5	6	7	8	9	10	11	12
サクランボ									
キャンベル									
スチューベン									
西洋ナシ									
リンゴ(千秋)									
リンゴ(ふじ)									
メロン									
スイカ									



やきそば職人を迎えてのバイキング給食(横手南小学校)

残ったものはどうなるの？



給食あれこれ

学校給食ではどうしてもある程度の残食が出てしまいます。以前は敷地内で堆肥作りをしているセンターもありましたが、現在は大雄の堆肥センターに持ち込むなどして効率よく再利用しています。

揚げ油は使用した後でプラントに運ばれ、バイオディーゼル燃料に生まれ変わります。香ばしいてんぷらの匂いの燃料です。



interview インタビュー

横手市学校給食野菜出荷農家会
高橋利光さん
(たかはし としみつ)

横手市旭地区で農業を営む。25戸の仲間と農家会を結成し横手学校給食センターに地産産物の野菜を出荷している。JA秋田ふるさときゅうり部会長。

横手産の手作り野菜を給食に

いま農家会が自信を持ってお勧めできる地場産物は、アスパラ、ジャガイモ、ホウレンソウ、ネギ、シイタケなどです。学校給食センターとのお付き合いでは、一日に何千という食数分の野菜を安定的に確保するための苦労があります。それでも、丹精した野菜を笑顔で食べてくれる子どもたちの様子を思い浮かべると心が晴れる思いです。農家の流した汗も一緒に食べてもらっているような一体感が、学校給食に出荷することの喜びです。農家会の出荷品の割合はまだまだあまり高くありませんが、将来は60%程度を目標にしていきたいと思っています。

横手は大きくなりました。子どもたちにそれぞれの地場の特産を食べてもらうには工夫が必要です。一つひとつの農家会は小さくとも、連携してネットワークを作れば、自分たちでできない作物を補いながら広い範囲で活動できることでしょう。今後はそんな動きが起きないものかと考えています。もうひとつの夢は、子どもたちに種まきから収穫までの農作業を実践してもらい、その喜びとともに作物を食する体験をもう一つのことです。地元で育った作物を口にすることで、これからの提供していきたいと思っています。

学校給食と地産地消

地域地場産品で支える学校給食の形が、少しずつ姿をあらわそうとしています。

地産地消とは、地域で生産された農産物などをその地域内で消費することをいいます。地産地消の長所は数多くあげられますが、生産者との距離が近く安心・安全であることとか、旬の食べ物を新鮮なうちに食べられる、地域経済の活性化、地域への愛着の喚起、伝統的な食文化が継承できるといったさまざまな利点があり、そのまま学校給食に

取り込むことができそうです。昨年10月に完成した地産地消スクールランチは、横手の豊富な食材を活用した特色のある学校給食メニューを季節ごとに作成し、学校給食に提供して地域の食文化を知ってもらおうと、秋田県農林水産部などが企画したものです。メニュー作りは横手市学校給食協議会栄養士部会の皆さんが中心となり、地元農協や食育ボランティアの皆さんの協力を得て、メニューの検討から試作、栄養計算など試行錯誤を重ねて誕生しました。

●秋の献立

栗ごはん
牛乳
サケのくすかけ
ホウレンソウと菊のクルミあえ
いものこ汁
ブドウ
(エネルギー720キロカロリー)



増田高校実習田での田植え作業。秋には収穫祭も…(増田小学校)

農家の皆さんから地場産食材を購入するメリットは、なんとといっても生産者の顔が見える安心感に尽きます。それは、農産物直売所から生産者の名札のついた作物を購入するイメージに近いものがあります。減農薬栽培などの導入によって、学校給食として、より理想的な食材に近づける

一方、地場産品を給食に提供する側には、求められる課題もあります。年間を通しての取引に堪える経営基盤がしっかりしていること、発注に答えて一定の量を供給できる安定した生産基盤が求められることなどです。現状ではこれらに一部課題を残すものの、今年から山内地区でも、学校給食センター周辺の農家数戸が農家会を組織し、地元産の食

材を納入するなど、新たな展開がありました。



朝、地元農家から旬の野菜が届けられます(増田給食センター)

おいしいね！ 顔の見える給食

食と農のまちづくりを掲げる横手市。学校給食は地産地消の可能性を拓く大きな手がかりです。コメの消費拡大、地場産の野菜や食材の納入など農業と学校給食とのかわり合いはこれからますます深くなっていきそうです。

横手の地場産品を給食に

平成13年5月の県内紙に、横手市が学校給食に地場産品(野菜)の導入を始めたという記事が掲載されています。これは、旧横手市の農林課が、11戸の生産者に呼びかけて始めた試みで、記事によれば、当面はジャガイモとニンジンを対象にして減農薬栽培をすると書かれています。これが、現在横手学校給食センターに農作物を納入している、横手市学校給食野菜出荷農家会の前身です。

速報 第3回全国学校給食甲子園

「横手市の給食がベスト12で決勝大会進出決定」

全国学校給食甲子園は、地場産品を生かした学校給食の献立を競う全国大会で、今年で3年目を迎えます。今回平鹿学校給食センターで応募した献立が、全国1,329点の応募の中から、三次審査まで勝ち進み、決勝大会に進出する全国12点の中に選ばれました。

今回勝ち進んだ献立は、地産地消スクールメニューの、秋の献立と冬の献立をアレンジしたもので、古代米入りごはん、牛乳、納豆汁、ハタハタの唐揚げ、セリ蒸し、リンゴ、という内容です。

決勝大会は11月9日(日)に東京駒場の女子栄養大学で、以下の条件のもとに、実際に料理を作るキッチンスタジオ形式で行われます。

- ・出場者は2名(栄養教諭または学校栄養職員と調理員)
- ・分量は5人分とする。
- ・1時間以内で調理をすること。
- ・調理場の衛生管理が適正に行われていること。

横手の給食が全国の頂点を競う日まで、もうすぐです。

食育を進めながら給食を守ります



interview
インタビュー

横浜市教育委員会 教育指導部長
伊藤孝俊
(いとう たかとし)

旧横浜市平鹿郡内の公立小中学校で教鞭をとる。平成14年からオーストラリアに赴任。帰国後旧横浜市教育委員会教育次長に着任。平成19年から現職。

給食をとりまく現状が厳しいことは確かです。その中で、この明らな兆しは、今年、横浜市としては初めての栄養教諭を配置したこと。これまでは、非常勤講師として栄養士による指導を続けてきましたが、市内の全37校の給食を担当する専任の栄養教諭が誕生したことで、これまで以上に具体的な指導ができるようになったことは大きな収穫でした。栄養教諭に期待するのは、食育におけるコーディネーターとしての役割です。栄養士の経験と実績を合わせることで、横浜市の食育推進のスピードアップが期待されます。

燃料や材料費の高騰が話題になっていますが、物価が上がったから給食費も、ということも考えていません。まず給食費の未納・滞納の解消が急務です。物価上昇の状況を正確に分析する必要があります。メニューを作る栄養士にもより工夫をお願いした上で検討したいと考えます。学校給食センターは、学校統合同ともその統廃合が求められます。安全と安心に配慮しながら進めていくことになりませんが、当面は地域ごとに異なるセンター機能の統一をはかり、均質なサービスが提供できるよう努めていきたいと思います。



楽しく食べることも食育につながります(大雄中学校)



バイキング給食ではバランスよく取ることを学びます



●冬の献立
ごはん
牛乳
ハムソテー
セリむし
納豆汁
いぶりたくあん
リンゴ
(エネルギー683キロカロリー)

どうなるの？
給食の明日を守る

学校給食が抱える問題、それは食の安全に関わるものだけではありません。燃料費や原材料費の高騰、施設設備の老朽化、少子化を受けた学校統廃合とセンターの統廃合など、地域社会に関わる諸課題の縮図ともいえるべき問題が給食センターを揺るがしています。

昨年から今年にかけて、原油高騰と連動して燃料費が大幅に値上がりしました。学校給食の食材も大きく値を上げています。同じメニューで食材を購入した場合、昨年度と今年度でどれだけの差が出るかを学校栄養士が試算したところ、メニューによって差はあるものの、横手給食センター管内の小中学生の場合で、1人1食あたりの給食費に換算して約6%から23%の値上がりが見られました。これは、約12円から48円の給食費のかなり増しを意味しています。

限界に近い材料費の高騰

現在は栄養士の工夫とやりくりで献立を立てていますが、今後は情報の収集や仕入れの健全化など、あらゆる手段で値上げに対応していくことが求められています。

進む施設・設備の老朽化

市内の8学校給食センターは、昭和30年代から40年代にかけての開業が多く、施設も改修や改築を実施してからの長い年月が経過しているセンター

育てたい食育の力

食育を通して生きる力を育むとは、具体的にはどのようなことをさすのでしょうか。財団法人日本食生活協会が提唱する「親子で食育 親子で5つの力を育てましょう」では、「食育」は単に「食」に関する知識だけを学ぶのではなく、豊かな自然によって育まれる命の素晴らしさ、愛

1があります。昭和38年開業で同55年に現在の施設を建設した十文字センターや、昭和49年の新築開業以来一度も建て替えることなく今日まで営業を続ける横手センターなど、何らかの抜本的な手当てが必要な施設が目立ちます。

食育基本法と学校給食

さまざまな課題を抱えながらも、学校給食が食育を担う大切な拠点であることに変わりはありません。国は平成17年6月に「食育基本法」を制定しました。これは、すべての国民が健全な心身を培い、豊かな人間性を育むためには、食生活の大切さを学ぶ「食育」を押し進めることが大切だと定めたものです。

- ① 学校や保育所、施設等の食育推進
- ② 家庭における食育推進

センター方式とタンク方式

給食の調理場は、大きく2つのタイプに分かれます。何校分かをまとめて作り配送するのが共同調理場方式とも呼ばれるセンター方式で、横手市のほか大田市、湯沢市などが採用しています。対する単独校方式は、1つの学校に1つの調理場が付いて給食を提供する方式をいい、県内では秋田市がこの方法を採用しています。

給食あれこれ

- 料理をする力
指を使い、五感を総動員して料理をつくることは子どもの創造力、集中力、計画性を育みます。
- 食べ物を選ぶ力
自分のからだにとって必要な食べ物をバランスよく食べているかを判断する知識と知恵を身につけましょう。
- 食べ物の命を感じる力
野菜、肉、魚といった食材は豊かな自然が育んだ「生命」。自然環境や食べ物を尊重し、感謝するところをもちましょ。
- 食べ物の味がわかる力
食育は、単に食の知識や情報を身に付けるだけではなく、心を育てる教育です。学校給食を通して食育を進めることは、地域の素晴らしさに気づくことに通じます。食育は、地域の明日を守り、未来に向けた地域づくりへと広がっていく営みではないでしょうか。
- 元気な体のわかる力
自分のからだのもっとも元気な状態を感じて、常に健康でいられるよう、からだをコントロールする力を身につけましょ。

学校給食費について

学校給食費の納入は給食の材料費を教材費として負担していただくもので、学校給食法により定められた保護者の義務です。横手市では全世帯のうち約3%弱の未納・滞納者が存在します。

平成20年度の給食費は次の方法で納入いただいています。

- ① 口座振替
- ② 金融機関窓口での現金納付

上記2つの方法では納めることが難しい世帯のために、2か月以上給食費を未納した場合に限り

- ③ 学校の集金とともに給食費を納めていただく学校集金での納入をお願いしています。

平成19年度以前の滞納者については管理職による家庭訪問を行い、収納相談を通じて滞納の解消に努めています。

**納め忘れはありませんか
口座の残高確認をお願いします**

行政情報便

11月中、口座振替キャンペーンを行います！

市は、市税等を口座振替で納付していただくためのキャンペーンを行います。11月中、新規で口座振替での納付を申し込まれた方に『エコバック』を進呈します。ぜひ「簡単！便利！」な口座振替をご利用ください。

申込書は、市内各金融機関、郵便局窓口、各地域局税務担当窓口を用意しています。



◆問合せ 市財務部納税課 ☎32-2518(横手庁舎内)、または各地域局地域振興課

高齢者世帯等の雪下ろし・雪寄せを支援します

建設業事業者やシルバー人材センター等のご協力を得て、高齢者世帯等の雪下ろしと雪寄せ作業を支援します。希望される方は、各地域局福祉担当へ料金内容等をご確認の上、11月20日(木)までお申し込みください。住民税非課税世帯等には、利用料金の一部を市が助成します。

- ◆対象
- 高齢または身体上の理由等により、通路の雪寄せや雪下ろし作業をすることが難しく、親族や近隣者からの援助が困難な世帯(下記の条件に合致する方)
 - ①65歳以上で1人暮らしの方、または高齢者のみの世帯
 - ②配偶者のいない女性と義務教育終了前の児童のみの世帯
 - ③身体障害者手帳の交付を受け、障がいの程度が1～2級の方
- ※昨年度の利用者には、直接通知をします。

—— 除雪ボランティア会員を募集中です ——

市内には、高齢者の除雪(生活通路や玄関先)を手伝うボランティア団体があります。雪で困っている方のため、皆さんの力をお貸しください。

◆問合せ 市福祉環境部高齢ふれあい課(大森庁舎) ☎35-2134、または各地域局福祉担当

固定資産税4期・国民健康保険税5期・介護保険料5期・後期高齢者医療保険料5期

◆ 納期限は12月1日です ◆

納期限までの納付をお願いします。

市財務部納税課(横手庁舎) ☎32-2518

まちづくり交付金事業事後評価案を公表

醍醐地区で平成16年度から行っていた、まちづくり交付金(※)を活用した事業(公営住宅建築・通学路整備・子育て支援事業等)が今年度で完了します。



この事業は、計画段階で地域社会の居住推進などの目標数値を設定し、最終年度に事後評価を行い、達成状況等を確認することが規定されています。これに従い、今回の事業内容と目標数値・目標達成度等をまとめた事後評価案を公表します。今後のまちづくりに役立てるため、皆さんのご意見ご要望などをお寄せください。

※「まちづくり交付金」とは…地域の持つ歴史文化や自然環境などの特性を生かして個性あるまちづくりをすることを目的に、平成16年度に創設された制度です。

- ◆公表方法 市のホームページに掲載するほか、建築住宅課(横手庁舎4階)にて書面で公表します。
- ◆公表期間 11月1日(土)～14日(金)
- ◆問合せ 市建設部建築住宅課 ☎35-2224

来年から、し尿汲み取り料金が変わります

し尿汲み取り料金が、平成21年1月1日から次のように改定となります。(料金は消費税を含んだ金額です)

【改定前】	従量制	180ℓにつき	1,200円
【改定後】	従量制	180ℓにつき	1,300円

現在の料金は、平成18年9月から全市一律で改定となったものです。今回は、公共下水道事業や合併浄化槽の整備に伴い、し尿汲み取り量が減少し、収集単価が増加したために改定となりました。

許可業者には、利用者の皆さんに不便をおかけすることのないよう更なる努力をお願いしていますので、ご理解をお願いします。

◆問合せ 市福祉環境部環境課(大雄庁舎内) ☎35-2184、または各地域局環境担当

国民年金保険料控除証明書を送付します

国民年金保険料は、全額が社会保険料控除の対象になります。年末調整や確定申告で納付した保険料額を申告する際「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が必要です。この証明書は、11月上旬に社会保険庁から送付されますので、申告時まで大切に保管してください。

◆問合せ 「控除証明書専用ダイヤル」 ☎0570-070-117

市が、十文字町海道下に建設した、使用済食用油からバイオディーゼル燃料(BDF)を精製する施設の運転開始式が10月20日に行われました。

これは、同地域に道の駅を建設する際、環境に優しい道の駅として使用済食用油の回収を検討したのがきっかけで、昨年は地元の町内会600世帯がモデル地区となり、事業化にこぎつけたものです。

施設内には、BDF精製装置が設置され、一回7時間の稼働でBDF100ℓが精製



稼働開始を祝い、行われたテープカット



精製過程の説明を受ける出席者

可能です。当面は実証実験として、市内の学校給食センターや家庭などから使用済食用油を回収し、精製処理してできるBDFを公用車や農業機械などで使用。その後、実際に使った結果を検証し、最終的には月5,000ℓの精製を目指します。

式典において、五十嵐市長は「この始動はバイオマスタウン構想の第一歩。気運が他の地域にも広がっていくことを期待したい」とあいさつ。

テープカットをして、施設の稼働開始を祝いました。

バイオディーゼル燃料化施設が始動



優勝報告に訪れた石田あかねさん(右)と五十嵐市長

第63回国民体育大会「チャレンジ!おおいと国体」の陸上競技少年女子A100ℓで優勝した石田あかねさん(横手清陵学院高校2年)が10月14日、市役所南庁舎を訪れ、全国制覇の報告をしました。

これを受け、五十嵐市長が「横手から全国一という素晴らしい快挙を成し遂げてくれた。全国制覇を目標したい」と力強く応えました。

石田あかねさんが国体優勝を報告

石田さんは、10月4日に行われた決勝戦で、自己ベストを0秒09縮める11秒85を記録。見事優勝を飾り、2年前の全国中学校体育大会に続く自身4度目の全国一に輝きました。

また、県内選手の国体での100ℓ優勝は、成年・少年を含めて初となります。

会心の走り、全国の頂点に

10月11日から13日までの3日間、『横手やきそば四天王決定戦』が秋田ふるさと村特設会場で開催されました。

横手やきそばのレベル向上を目指し昨年からはまったこの催しには、市民モニターによる覆面調査で選ばれた上位10店舗が出店。審査員である来場者がやきそばを食べ比べ、

「食い道楽本 ば館 ゆう」、『食い道楽本 気に入った店舗に割り箸で投票するというものです。好天に恵まれた3日間、各店舗の前には来場者の長い列ができ、約1万5,000食販売という盛況ぶりとなりました。

最終日に行われた開票の結果、四天王には『食い道楽横手駅前支店』、『横手やきそば館 ゆう』、『食い道楽本

横手やきそば四天王決定戦2008



表彰式にて、左から四天王(4店)と推奨店(6店)の代表者

「H」なまざびへりを目指して

各店自慢の味で、くら勝負!

店』、『俊太郎』の4店舗が選ばれ、残りの6店舗が推奨店に認定されました。

秋を感じながら自然を楽しむ

■森林体験エコウォーク(山内)

10月12日、好天に恵まれた山内地域では、森林インストラクターの講話を聞きながら自然を楽しむ『森林体験エコウォーク』が開催されました。

これは地域の森林のすばらしさを体感し、地域環境への関心を高めてもらおうと行われたもの。参加者たちはモミジやドングリなど“秋”を感じさせる草木に囲まれた約1.3kmの道のりを、1時間半ほどかけて散策しました。また散策後は、山内いものこ汁とおにぎりが振る舞われ、味覚でも秋を満喫していました。



インストラクターの講話を聞き、自然の楽器・草笛に挑戦!



号砲の合図で一斉にスタートを切る参加者(10km・20km部門)

マツタケ獲得目指し健脚を競う

■第20回まつたけマラソン大会(雄物川)

10月13日、雄物川まつたけマラソン大会が行われ、県内外から参加した553人が、入賞品のマツタケ獲得を目指し、秋晴れの空の下で健脚を競いました。

競技は、市役所雄物川庁舎前を発着点に、男女別、年代別、距離別に14部門で行われ、各部門の上位6位までマツタケが贈られたほか、参加者全員にマツタケご飯が振る舞われました。また、第20回の節目を記念し、99年世界陸上の銀メダリスト・市橋有里さんが招待選手で参加。3部門で選手とともに汗を流しました。

リンゴにちなんだイベント盛況

■第43回りんごまつり(増田)

10月12日、増田地域恒例のイベントとして定着している『りんごまつり』が真人公園で開かれ、ミスりんごコンテストや『リンゴの唄』コンクール、皮むき競争など、リンゴにちなんだイベントでにぎわいました。

ミスりんごコンテストには、市内外から17名が出場。審査員の質問に答えた後、増田産リンゴを一人ひとりが笑顔でPRしました。審査の結果、ミスりんごには鶴沼絵梨子さん(羽後町)、佐々木理沙さん(羽後町)、熊澤まみさん(横手市)の3人が選ばれました。



第43代ミスりんご。左から鶴沼さん、佐々木さん、熊澤さん



人気を博した、昔ながらの太巻き作り実演コーナー

地元の“魅力”を味わう

■横手まるごと『味力』ものがたり

10月18日と19日の2日間、秋田ふるさと村を会場に横手まるごと『味力』ものがたりが開催されました。

横手の食をテーマに特産品や加工品を紹介しようと、秋田魁新報社・市・秋田ふるさと村の主催で行われたこの催し。天候にも恵まれ、多くの家族連れなどが会場を訪れました。特に、リンゴやブドウ、イモノコ、横手やきそばなど、地元の食を一堂に集めた味力八選コーナーや太巻き作り実演コーナーが人気を集め、来場者は旬の食材や懐かしの味を堪能していました。

市営住宅の入居者を募集します ~申込期限は11月14日(金)まで~

①公営住宅

地域名	名称	築年度	間取り	家賃(円)	募集戸数
横手	吉沢住宅	S53	3DK	13,800~	1
	七日市住宅	S56	2LDK	15,200~	1
	南朝日が丘住宅	S57	2LDK	17,700~	1
平鹿	第二道川団地	S48~	2DK	4,500~	4
雄物川	今宿団地	S59	3K	13,200~	1
	今宿第3団地	H5	2LDK	18,000~	1
	下鶴田団地	H15	2LDK	23,800~	1
大森	西野団地住宅	H7~	3LDK	26,100~	2
	十五野住宅	S51	2DK	10,000~	1
	上搦住宅	S46~	3DK・2DK	7,300~	3
大雄	旭団地	H18	2LDK	25,200~	1
	大雄東団地	S59	3DK	14,800~	1

②特定公共賃貸住宅

地域名	名称	築年度	間取り	家賃(円)	募集戸数
平鹿	五十田団地	H9	3LDK	52,500~	2
大森	特定西野住宅	H10	1LDK	30,000~	5
	特定西野住宅(世帯用)	H10	2LDK	50,000~	1



七日市住宅

- ◆入居条件 公営住宅法に定める入居資格をお持ちの方が対象になりますので、事前に市建築住宅課までご確認ください。(家賃は所得額によって異なります)
- ◆申込方法 市建築住宅課窓口または各地域局地域維持課にある申込書に所定事項を記載し、必要となる書類を添付して申し込んでください。(郵送不可)
※申込者多数の場合、抽選となります。
- ◆申込期間 11月5日(水)~14日(金)
- ◆抽選会 11月26日(水)(有資格者に通知します)
- ◆入居予定 12月上旬
- ◆申込み 市建設部建築住宅課(横手庁舎内) ☎35-2224、または各地域局地域維持課まで(8:30~17:15、土・日・祝日は除く)

市長です
横手市長 五十嵐忠悦
ごんにちは

○10/17:東北市長会総会
東北75市の市長で構成する東北市長会の総会が横手市を会場に行われ、71市の市長(代理含む)、随員合わせて160人を超す方々を横手にお迎えした。総会では、私が議長を務め地域の視点から東北が抱えるさまざまな問題について議論。原油高騰対策や産科医・小児科医・麻酔科医等の確保などを求める特別決議をはじめ、東北市長会として国に要望すべき事項を話し合い、決定した。

夕方からは懇談会が催された。横手やきそば、芋の子汁など地元こだわった食材と料理、そして心づくしのおもてなしで、豊かな自然に抱かれた『食と農のまち』横手を大いにPRさせていただいた。

また、お泊まりになった多くの方々から「朝ご飯がおいしか



懇談会の挨拶では「横手の食」を大いにPR

かった」というお褒めの言葉をいただいた。中でも県外の米どころの市長からも評価いただいたことは、とても嬉しいかぎり。朝ご飯のおいしい横手の推進にご努力いただいている宿泊施設の皆様にも感謝申し上げます。折りしも、食を取り巻くさまざまな事件や事故が問題となっている最中。安全で安心な「横手の食」の多彩さを広くアピールできたことは、大きな意味があったと思う。この横手の『地域力』が出席された方それぞれの心に新鮮な印象となつて残り、東北に留まらず全国に大きな広がりとして発信されることを願いたい。



総会では、議長として会の議事進行役を務めました

い どばたプラザ idobata plaza

市民団体やNPOなど行政以外からのお知らせを掲載するコーナーです。掲載を希望する場合は、発行日の15日前までに内容がわかるものをお寄せください。なお、記事の内容や情報量などによっては、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

鈴木信子パッチワーク教室作品展

●期間/11月1日(土)～10日(月)、午前10時～午後5時
●場所/コミュニティハウスね・ま～れ ●問合せ/石川さん ☎42-0820

真美会「秋の洋画展」

●期間/11月8日(土)～11日(火)午前10時～午後6時※11日は午後4時まで ●場所/かまくら館 ●問合せ/真美会事務局 ☎32-5545

第15回横手平鹿合唱祭

●日時/11月9日(日)午後1時30分開演 ●場所/横手市民会館 ●問合せ/柴田さん ☎32-8037

研修会「インターネット・携帯電話時代の子育て教育」

インターネット時代に生きる子供たちの実態や、子供を守る方法や対策などを考えます。
●日時/11月12日(水)午後2時～ ●場所/横手セントラルホテル ●問合せ/社団法人横手法人会 ☎35-7766

横手読書会11月例会「農村環境保全そして私たち」

●日時/11月14日(金)午後2時～ ●場所/女性センター ●問合せ/横手図書館 ☎32-2662

チャリティーワインパーティー

●日時/11月14日(金)午後6時30分～ ●場所/横手ステーションホテル ●チケット代/3,500円 ●問合せ/佐野さん ☎32-4287

食を考える「よこての食べかた」

食に関する映画上映や展示・物品販売を行います。
●日時/11月15日(土)正午～ ●場所/かまくら館 ●映画チケット代/一般1,200円(前売り800円)、学生500円 ●問合せ/和泉さん ☎090-2609-8103

横手フィルハーモニー管弦楽団第1回定期演奏会

●日時/11月15日(土)午後6時30分開演 ●場所/横手市民会館 ●入場料/1,500円(学生1,000円) ●問合せ/松井さん ☎36-2235

南部エリア「お正月料理教室」

●日時/11月22日(土)午前10時～ ●場所/南部エリア調理室 ●参加費/1,000円(材料費・保険料込) ●定員/20人 ●申込期限/11月17日(月) ●申込み/南部エリア ☎26-3880

環境ミニ講座「わが市におけるゴミの現状と減量対策」
●日時/11月15日(土)午後1時30分～3時30分 ●場所/あさくら館 ●問合せ/渡邊さん ☎0183-73-2606

横手ユネスコ展「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」
●期間/11月15日(土)～16日(日)、午前10時～午後4時
●場所/かまくら館 ●内容/小中学生、幼児の絵画展示 ●問合せ/横手ユネスコ協会 ☎32-9683

第36回横手吹奏楽団定期演奏会

●日時/11月16日(日)午後3時開演 ●場所/横手市民会館 ●入場料/500円 ●問合せ/加藤さん ☎080-5562-3556

自然を愛する皆さんの集い

●日時/11月16日(日)午後1時開演 ●場所/レストラン煉瓦屋 ●参加費/800円(軽食付) ●申込み/レストラン煉瓦屋 ☎33-2811

親子で金銭管理を学ぶ「親子こづかい教室」

●日時/11月15日(土)午前10時～11時30分 ●場所/男女共同参画センター ●参加費/1,000円 ●定員/10人 ●申込み/マネーじゅく@秋田 ☎090-8206-7194

公開講座「こどもの応急手当」

●日時/11月20日(木)午後1時～3時 ●場所/秋田県立衛生看護学院 ●定員/20人 ●問合せ/秋田県立衛生看護学院研修班 ☎23-5015

大雄母親クラブ「はんど・はんど」防犯安全セミナー

谷京子氏による「命の大切さ」を知るおはなし会です。
●日時/11月24日(月)午前9時45分～11時(参加無料)
●場所/大雄交流研修館 ●託児申込期限/11月17日(月) ●問合せ/大雄子育て支援センター ☎56-5061

とっぴんばらりのブー 第89回昔語りの会

●日時/11月22日(土)午後1時30分～ ●場所/こうじ庵(鍛冶町) ●問合せ/尾形さん ☎32-0630

2008年 おいしいパーティー
ポージョレ・ヌーボー&大沢葡萄JUICE&豆deラガービール
今年は新製品の『豆deラガービール』をご用意しました。みなさんお誘いあわせのうえ、ご参加ください！
●日時/11月20日(木)午後6時～ ●場所/横手プラザホテル ●チケット代/5,000円 ●問合せ/(社)横手市観光協会 ☎33-7111

情報

Information

「ねんきん特別便」相談の変更

11月から「ねんきん特別便」個別相談日が変更になります。
●日時/毎週火曜日、午前10時～正午・午後1時～3時
●場所/市役所横手庁舎
●問合せ/市福祉環境部国保市民課 ☎35・2186

商店街街路灯維持管理費補助金のお知らせ

商店会等が維持管理する街路灯電料の一部を補助しています。
●対象/10店舗以上で構成される商店会等
●受付期限/11月28日(金)
●問合せ/市産業経済部商工労働課 ☎45・5516

都市計画道路の変更案を縦覧しています

都市計画道路「桜沢団地線」の変更(廃止)に関する図書を縦覧しています。

●期間/11月14日(金)まで
●場所/市建設部都市計画課(文字庁舎内)、横手地域局地域維持課※休日は日直窓口
●問合せ/市建設部都市計画課 ☎42・5117

家族介護教室を開催します

介護に関する知識や技術、介護者の健康づくりを学びます。
【あさくら館】
●日時/11月6日(木)午後1時30分～4時
●内容/講話「在宅における介護福祉用品」、AED講習など
●申込み/横手福祉センター ☎33・8668

増田ふれあいプラザ

●日時/11月21日(金)、28日(金)午後1時30分～3時30分
●内容/介護予防についての講義、寝たきり介護実技など
●申込み/増田福祉センター ☎45・4848

「大雄地域福祉センター」

●日時/11月27日(木)午後1時～3時30分
●内容/湊クリニック院長講演在宅介護のワンポイント講座など
●申込み/大雄福祉センター ☎52・3311

「お母さんのしゃべり場」を開催します

子育てについて語ってみませんか。当日はアロマ、ハンドマ

ッサージも体験できます。
●日時/11月7日(金)午前10時～11時30分(参加無料)
●場所/大雄公民館
●申込み/市教育委員会生涯学習課 ☎22・2155

市民公開講座in横手2008

「胃・大腸がん 診療の進歩」
●日時/11月8日(土)午後2時～4時30分(参加無料)
●場所/かまくら館
●問合せ/市立横手病院 ☎32・5001

横手市女性センター・横手中央公民館まつり

●期間/11月8日(土)～9日(日)、午前10時～午後3時
●場所/市女性センター
●問合せ/市女性センター ☎33・3995、横手中央公民館 ☎32・3137

横手保健センター

各種教室、講演会のご案内
【ウォーキング教室】
●日時/11月21日(金)午前10時～11時30分
●定員/50人(参加無料)
●申込み期間/11月4日(火)～11日(火)

「ヘルスアップ栄養教室」

●日時/11月27日(木)午前10時～午後1時30分
●定員/25人

●参加費/300円
●申込期間/11月4日(火)～11日(火)

【講演会】ボケは防げる・治せる

●日時/11月21日(金)午後1時～3時30分
●場所/かまくら館
●定員/100人(参加無料)
●申込期間/11月4日(火)～14日(金)
●申込み/横手保健センター ☎33・9600

全国学力・学習状況調査の結果の公表について

本市の今年度調査結果の概要を掲載しています。
●URL/http://www.city.yokote.lg.jp/kyoiku/yokote/ ●問合せ/市教育委員会教育指導課 ☎35・2123

横手市雇用創出協議会

各種講演会、研修会のご案内
【講演会】江戸しぐさに学ぶ「キヤリア教育」につながる内容です。
●日時/11月9日(日)午後1時～3時30分(託児有り)
●場所/横手セントラルホテル
【マネジメント・コーチング研修会】
●日時/11月12日(水)～1月21日(水)※全6回受講できる方
●場所/横手市民会館
●申込み/横手市雇用創出協議会事務局(市産業経済部商工労働課内) ☎45・3990

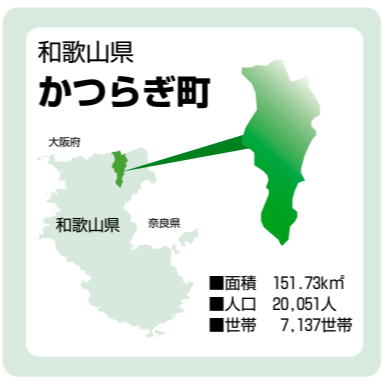
笑顔いっぱい



思えば 遠く来たんだ



さとう てるこ
佐藤 昭子さん (70歳・増田)



横手に来て45年。「周囲の人に助けられてきました。横手の人は人情味にあふれています」と話す昭子さんは、和歌山県かつらぎ町の出身です。24歳のときに地元で出会った夫の勝一さんと結婚し、増田地域に移り住んできました。振り返ると、あっといふ間のように感じる横手での生活ですが、当初は言葉や生活習慣の違いに不安や戸惑いもあったそうです。「縁あって横手に来たのだから、来たからには幸せに暮らしたいという気持ちが強かったですね。前向きで、負けず嫌いな性格なんです」とはにかむ昭子さん。知り合いのいない横手で楽しく生活していくために、持ち前の明るさを活かして、地元行事やサークル活動に積極的に参加することで地域に溶け込んでいきました。「人付き合いを始めるには、まず自分から」という信念は常に持ち続けています。

「夫は私に、遠く横手に嫁いでもいいと思わせた人なんです。今考えると、やっぱり赤い糸だったんでしょうね」と、45年前の思いを語る笑顔が印象的でした。

フレッシュ 輝リレー KAGAYARI



ふじい ななこ
藤井 奈々子さん (23歳・横手)

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式でご紹介します。藤井さんは、前回の五十嵐さんからのご紹介です。

◆興味は？
カラオケが好きで、同僚の保育士さんともよく行きますね。

◆仕事にやりがいを感じる時は？
子供たちの笑顔を見たときです。私の原動力は子供たちの笑顔なんです！

◆自慢できることは？
もちろん「子供が大好き」という気持ちです。これは誰にも負けません。

◆子供たちと遊ぶときは？
子供たちの笑顔を見たときです。私の原動力は子供たちの笑顔なんです！

◆趣味は？
カラオケが好きで、同僚の保育士さんともよく行きますね。

いきいき マイライフ 【雄物川】

さとう えいじ
佐藤 英二さん (70歳)
あいこ
愛子さん (67歳)



お二人で語る笑顔が素敵です！「たいでいき生きたい！」と笑顔が素敵です！「たいでいき生きたい！」と笑顔が素敵です！

「練習後はとにかくリフレッシュしますね。心も体も頭も元気に、長生きしたいです！」と笑顔が素敵です！



英二さんと太極拳仲間の皆さん

えがおの交差点

スポーツサークル(大雄)

大雄ミニテニスサークル「ふれんど」



最大の魅力は「親子で楽しみながら運動ができること」というミニテニスサークルふれんどは、今年4月に発足。5歳～60代の会員が月2回、練習に取り組んでいます。大人と子供が一緒に参加でき運動不足の解消にもなることあって、子育て真っ最中の方も多く「サークル名のおり会員同士の仲がとても良く、年代を超えての仲間作り、交流の場にもなっています。毎回、練習日が待ち遠しくてしかたないんです」と会員のみなさんは語ります。今後は大会に参加したり、ミニ大会を企画したりと、活動の幅を広げていきたいとのこと。

初心者も経験者も一緒になって楽しめるミニテニス。「運動が苦手な人でも楽しめるはず！気軽に問い合わせてください」とのことでしたので、みなさんもぜひ生涯スポーツとして始めてみませんか。

◆問合せ 大雄生涯学習センター ☎52-3907

笑顔がいっぱい



診療所

【増田地域】

増田町診療所(耳鼻咽喉科)

診療日 11月5・12日(水)
診療時間 14:00~15:30

【雄物川地域】

えがいの丘診療所

診療日 11月5・12日(水)
診療時間 14:30~15:30

大沢診療所

診療日 11月10日(月)
診療時間 13:30~14:30

休館日

お出かけ前にご確認ください

横手図書館	11月3・4・11~18日
増田図書館	11月4・10・16・17日
平鹿図書館	11月3・10・17日
雄物川図書館	11月3・4・10・17日
大森図書館	11月4・10・17日
十文字図書館	11月3・4・10・16日
山内図書館	11月1・2・3・8・9・15・16日
大雄図書館	11月3・4・10・16・17日
雄物川資料館	11月4・10・17日
ゆっぶる	11月19日
えがいの丘	11月4・10・17日
三吉山荘	11月4・11日
大森健康温泉	11月4・10・17日
ゆとりおん大雄	11月6・20日
南部エリア	11月4・10・17日
健康の駅トレーニングセンター	
東部	11月5・12・19日
西部・南部	11月1・2・3・8・9・10・15・16・17日
子どもと老人のふれあいセンター	11月4・10・17日

献血日程

成分献血については、予約優先とさせていただきます。
申込み 県平鹿地域振興局福祉環境部 ☎32-4005

月日	地域	実施場所	実施時間	種類
11月4日(火)	横手	県平鹿地域振興局庁舎	10:00~12:00	成分
		市役所横手庁舎	13:15~16:30	
11月6日(木)	横手	東北農政局平鹿平野農業水利事業所	10:00~11:30	全血
11月11日(火)	横手	やすらぎの苑	14:00~16:00	
11月14日(金)	大雄	大和更生園	10:00~10:50	
		秋田陸合成(株)	11:10~12:00	
		宮腰デジタルシステムズ(株)	12:20~13:20	
		市役所大雄庁舎	14:30~16:00	

休日当番医

11月2日(日)	八木橋医院	前郷一番町	☎32-0682
11月3日(月)	細谷内科医院	前郷二番町	☎36-2221
11月9日(日)	松井医院	赤川	☎36-3711
11月16日(日)	針生皮膚科内科医院	平城町	☎32-9461

平鹿総合病院 日曜夜間小児救急外来 ☎32-5124

11月2日(日)	無江医師(醍醐クリニック)	受付18:00~21:00 診療18:30~21:30
11月9日(日)	石橋医師(石橋小児科医院)	
11月16日(日)	石橋医師(石橋小児科医院)	

乳児健診・予防接種

乳児健診・予防接種はお住まいの地域で受けてください

【横手地域】 ■場所 横手保健センター

4か月児健診(平成20年6月生まれ)

日時 11月5日(水) 受付12:30~13:30

12か月児健康相談(平成19年10月生まれ)

日時 11月10日(月) 受付9:30~10:30

1歳6か月児健診(平成19年4月生まれ)

日時 11月6日(木) 受付12:30~13:30

2歳児歯科健診(平成18年5月生まれ)

日時 11月4日(火) 受付13:00~13:30

3歳児健診(平成17年4月生まれ)

日時 11月7日(金) 受付12:30~13:30

ポリオ予防接種

日時 11月17日(月) 受付13:00~13:45

1回目対象者 平成20年6月生まれ

2回目対象者 平成19年12月生まれ

日時 11月18日(火) 受付13:00~13:45

1回目対象者 平成20年7月生まれ

2回目対象者 平成20年1月生まれ

【増田地域】 ■場所 多目的研修センター

1歳6か月児健診(平成19年3月生まれ)

日時 11月7日(金) 受付12:40~12:50

3歳児健診(平成17年3月~5月生まれ)

日時 11月7日(金) 受付12:30~12:40

【平鹿地域】 ■場所 ゆとり館

4か月児健診(平成20年6月生まれ)

日時 11月4日(火) 受付12:50~13:10

7か月児健診(平成20年3月生まれ)

日時 11月4日(火) 受付12:50~13:10

1歳6か月児健診(平成19年3月~4月生まれ)

日時 11月6日(木) 受付12:50~13:10

3歳児健診(平成17年3月~4月生まれ)

日時 11月5日(水) 受付12:50~13:10

ポリオ予防接種

日時 11月13日(木) 受付13:00~13:20

1回目対象者 平成20年6月生まれ

2回目対象者 平成19年8月~9月生まれ

【雄物川地域】 ■場所 雄物川保健センター

4か月児健診(平成20年6月生まれ)

日時 11月6日(木) 受付12:40~12:45

7か月児健診(平成20年3月生まれ)

日時 11月6日(木) 受付13:00~13:15

2歳児歯科健診(平成18年4月~5月生まれ)

日時 11月12日(水) 受付12:30~13:30

3歳児健診(平成17年3月~4月生まれ)

日時 11月7日(金) 受付13:00~13:15

【大森地域】 ■場所 大森町高齢者等保健福祉センター

(2歳児歯科健診は雄物川保健センター)

4か月児健診(平成20年6月生まれ)

日時 11月10日(月) 受付10:00~10:15

7か月児健診(平成20年3月生まれ)

日時 11月10日(月) 受付10:00~10:30

2歳児歯科健診(平成18年4月~5月生まれ)

日時 11月12日(水) 受付12:30~13:30

【十文字地域】 ■場所 幸福会館

4か月児健診(平成20年6月生まれ)

日時 11月12日(水) 受付12:50~13:20

7か月児健診(平成20年3月生まれ)

日時 11月13日(木) 受付12:50~13:20

12か月児健康相談(平成19年10月生まれ)

日時 11月12日(水) 受付9:30~9:50

【山内地域】 ■場所 横手保健センター

4か月児健診(平成20年6月生まれ)

日時 11月5日(水) 受付12:30~13:30

12か月児健康相談(平成19年10月生まれ)

日時 11月10日(月) 受付9:30~10:30

1歳6か月児健診(平成19年4月生まれ)

日時 11月6日(木) 受付12:30~13:30

2歳児歯科健診(平成18年5月生まれ)

日時 11月4日(火) 受付13:00~13:30

3歳児健診(平成17年4月生まれ)

日時 11月7日(金) 受付12:30~13:30

【大雄地域】 ■場所 大雄地域福祉センター

(2歳児歯科健診は雄物川保健センター)

4か月児健診(平成20年6月生まれ)

日時 11月5日(水) 受付12:30~12:45

7か月児健診(平成20年3月生まれ)

日時 11月5日(水) 受付12:30~12:45

2歳児歯科健診(平成18年4月~5月生まれ)

日時 11月12日(水) 受付12:30~13:30

相談

【横手地域】

心配ごと相談所 ■場所 横手市社会福祉協議会

日時 11月6日(木) 9:30~12:00

問合せ 横手市社会福祉協議会 ☎33-8668

行政相談 ■場所 横手地域局1階1番窓口(受付)

日時 11月14日(金) 13:00~15:00

問合せ 横手地域局地域振興課 ☎32-2701

育児相談 ■場所 子育て支援センターなかよし

毎週月曜~金曜日 9:00~17:00

問合せ 子育て支援センターなかよし ☎32-6933

社会保険年金相談 ■場所 横手地域局1階相談窓口

毎週月曜~木曜日 10:00~12:00 13:00~15:00

問合せ 横手地域局1階相談窓口 ☎32-2111内線2182

【増田地域】

心配ごと相談 ■場所 多目的研修センター

日時 11月13日(木) 9:30~12:00

【平鹿地域】

心配ごと相談 ■場所 ゆとり館

日時 11月5日(水) 9:30~12:00

【雄物川地域】

心配ごと相談 ■場所 雄物川コミュニティセンター

日時 11月12日(水) 9:30~12:00

行政相談 ■場所 雄物川保健センター健康相談室

日時 11月17日(月) 10:00~12:00

【大森地域】

心配ごと相談所 ■場所 大森コミュニティセンター

日時 11月11日(火) 9:30~12:00

【十文字地域】

無料法律相談 ■場所 幸福会館

日時 11月10日(月) 10:00~12:00(要予約)

問合せ 十文字福祉センター ☎42-5858

心配ごと相談所 ■場所 幸福会館

日時 11月7日(金) 9:30~12:00

【山内地域】

心配ごと相談所 ■場所 山内福祉センター(ゆうらく館)

日時 11月4日・18日(火) 9:30~12:00

【大雄地域】

無料法律相談 ■場所 大雄地域福祉センター

日時 11月17日(月) 10:00~12:00(要予約)

問合せ 大雄地域福祉センター ☎52-3311

心配ごと相談・行政相談 ■場所 大雄地域福祉センター

日時 11月14日(金) 9:30~12:00



ふれあい 語り合い

読者同士の交流や情報交換に、いろいろな声を寄せてください。

入院生活

「ママはアイドル」さん (39歳・横手)

今年の夏は暑かったせいかわ、体調を崩し入院。先生や看護師さんなどに支えられ、たくさんのお話を学びました。入院中の一番の楽しみは市報でした。私も県外からお嫁に来て20年が経とうとしています。「思えば遠くへ来たもんだ」の方々も色々な苦労を重ねてこられたと思います。笑顔の写真から周りの人達に支えられてがんばっていることが伝わります。なかなか実家へも行けないと思いますが、ここ秋田でがんばっていきましょね。

「市報よん」

S・Sさん(28歳・美郷町)

私は横手市民ではないのですが、毎月職場で市報よんを讀ませてもらっています。今まで知らなかった横手のことを知ることができ、いつも楽しみにしています。

地上デジタル放送

「あやちゃんバーバー」さん (60歳・大雄)

2011年7月にはアナログ放送が終了し、デジタル放送になるとしきりに放送していますが、テレビ好きの私はとても困っています。台所居間、寝室とテレビをつけていますが、これを全部買い替えるとなると大変な出費。何でも値上がりして困っているのに、テレビを買いなお金はどうしたらいいのでしょうか。

地産地消

「ネ」ママさん(47歳・横手)

今、食の安全が問われるようなニュースが多く聞かれます。でも秋田県では地元の農家で作った野菜、副菜などを並べている店が増えていきました。米も安心して食べられます。形は多少悪くても味は同じ。よく使わせてもらっています。農家の方々に感謝です。

駅前再開発

M・Kさん(47歳・横手)

先日、職場に旧平鹿総合病院と羽後交通ビルの解体工事の過程を示した用紙が配布されました。駅前で働いているにもかかわらず、こんなに早く着実に駅前が変化しつつあることに改めて驚きを感じています。毎日生活している私達でさえ急速に変化する市内にとまどっているのに、Uターンの方達はどんな思いを抱くことでしょうか。

仲間

「石ちゃん」さん(57歳・十文字)

先日、友人のささやかな退職会に出席した。30年間、仲間として働いてきた友人がまた一人去っていった。定年まで働けることはとても素晴らしいことだ。私もあと2、3年。この会をやるように体に気をつけてがんばらなくては…。ファイト！

花壇を見に来てください

「婦人会さん」(62歳・増田)

昨年、国体用に作った花壇を今年も作りました。増田中学校より西に進んだ国道342号線沿いの場所です。行政と地域の方、増田婦人会の力の結集。何といっても立体的な花

雪寄せロボットが欲しい

T・Nさん(79歳・増田)

高校や高専、大学のロボットコンテストが盛んに行われております。想像もできなかった電子頭脳開発にびっくり。毎年のように降る雪の除雪は老人世帯には重労働です。若い人たちの頭脳を駆使して、雪寄せロボットの開発を切に願っています。

次回はどのコースが楽しみ

匿名さん(60歳代・横手)

10月6日の市内半日観光に初参加し、有意義だった。本多正純公の詳

市報よこて 読者プレゼント

Present! お便りをくださった方に、抽選で横手市の特産品等をプレゼントします。

今年もおいしくできました！ 大沢葡萄ジュース&ジャムをセットにして

横手・大沢地区のぶどう農家が丹誠込めて作った、糖度23度以上の樹上完熟スチューベンを贅沢に使ったぶどうジュースが、今年も11月1日から発売を開始。まじりっ気なしの大沢ぶどうの甘さが楽しめる逸品は、発売から4年目を迎え、さらに極上の仕上がりとなっています。

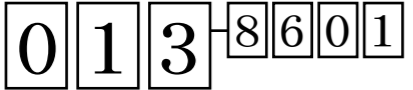


この『大沢葡萄ジュース・スチューベン』(720ml)と、こちらも砂糖無添加の体に優しい『大沢葡萄ジャム』(150g)をセットにして、5名様にプレゼントします。

【提供】 社団法人横手市観光協会 ☎33-7111

【プレゼント応募締め切り=11月25日(当日消印有効)】 ※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

POST CARD



お手数ですが50円切手をお貼りください

横手市前郷字下三枚橋163 横手市役所市長公室 広報広聴担当 行

Registration form with fields for name, age, gender, address, and phone number.

市報11/1号読者プレゼントに応募しますか

- 1. はい 2. いいえ

Vol. 36
菓子職人



地元を愛す巧の熱意が
愛される商品を生み出す



長里 英樹さん(38歳)

ながさと ひでき
昭和45年、旧増田町生まれ。高校卒業後、東京の菓子店で6年間修行。その後、地元に戻り『長里菓子店』の3代目を継承。現在、もうひとつの顔として、地域密着バンド『ホザネーズ』のメンバーとしても活躍中。



古来より、蜂蜜や果物など人々が追い求めてきた「甘味」。貴重品だった時代から庶民が親しむものとなるにつれ、それは菓子文化へと発展してきた。今は大量生産が可能になり、菓子が多様化した時代。より新しいものが求められがちなか中、秘伝の味を守り続ける巧がいる。

煎餅を焼く香ばしい香り漂う店内。店先では、親子で煎餅作りに励む巧の姿があった。煎餅や饅頭、羊羹など和菓子を中心に販売し、70年近い歴史を誇る長里菓子店。「店の商品は、ほとんどが祖父の代からのもの。味はお客さん自身が一番良く知っている。地元で長く親しまれてきたものだからこそ、職人としてのこだわりよりもお客さんの声を大切にしたい」と巧は語る。

売り上げの7、8割が結婚式の引き出物だった先代の時代に比べ、今はその注文もほとんどない。「先代とでは時代の流れが違う。これからは先を見据えていかなければ」と、生活様式の変化が与える菓子への影響を考える巧の目は厳しい。

地元の活性化にも積極的に活動する巧。菓子にも地元らしさにこだわる姿が伝わってくる。増田の文化遺産である満福寺のこもり地蔵や内蔵にちなんで名づけた『地蔵まんじゅう』、『蔵羊羹』など、新たな試みにも挑戦している。「ここは大切な人や仲間が暮らすまち。地元の皆さんに愛される店であり続けたい」。巧のそんな熱い思いが小さな菓子に詰まっている。

図書館だより

図書館ホームページ(利用案内・蔵書検索・予約など)
http://www.city.yokote.lg.jp/kakuka/toshokan/library_introduction.jsp
※最寄りの図書館ですべての館の蔵書を借りることができます。
■問合せ 雄物川(中央)図書館 ☎22-2300 または最寄りの図書館まで

今月の一冊



親馬鹿力のおかげです
林家木久扇・林家木久蔵/岩崎書店 [平]

親馬鹿と聞いて良い印象を持つ人は少ないかもしれませんが、今回は別です。賢いほめ方が載っている本書をご紹介します。

誰も自分が育てたものは、かわいいものです。子どもに限らず、愛情を注いだものには人一倍の思い入れがあります。より良く育ててもらうためにはどうすればいいのでしょうか。著者の場合は、ほめちぎります。でも、ほめるだけではなく、しっかりと見守る。叱るのではなく、しっかりと教える。相手とちゃんと向き合っているからこそ理解することができるのです。温かい包容力と親の偉大さを感じる一冊です。皆さんも親馬鹿力をご参考になさってはいかがでしょうか。

平鹿図書館 図書館員 佐藤陽子

◇定例おはなし会(会場は各図書館)◇

- ・11月1日(土)午前10時30分/十文字図書館
- ・11月9日(日)午前10時30分/横手図書館
- ・11月15日(土)午後2時/増田図書館
- ・11月16日(日)午前10時30分/雄物川・大森図書館

◆◆本のリサイクル市◆◆

11月8日(土)より、雄物川図書館にて開催します。不要になった本などを差し上げますので、お早めどうぞ。※なくなりしだい終了

あとがき

給食…それは私にとって苦い思い出の時間だった。食べるのが遅く、いつも最後まで残り、ご飯をかきこむようにして食べていた小学生時代を思い出す。今ではその面影もないほどだが、今回は、そんな思い出深い給食の特集で、市内の学校におじゃました。おかずを見て驚いたのは、栄養バランスの良さや野菜の種類が豊富で、『食』について考えつくされた豪華な食事をいただくことに気付く。苦手意識のあった給食。取材するにつれ、それが尊いものとして目に映った。(小百合)

[]内は所蔵館名
横=横手、増=増田、平=平鹿、雄=雄物川
森=大森、十=十文字、大=大雄、山=山内

新着図書紹介

◎一般向け

- 「『天地人』を歩く」/火坂雅志 [横・十]
- 「夫婦の格式」/橋田壽賀子 [横]
- 「行政の解体と再生」/上山信一 [平]
- 「義塾の原点(上・下)」/童門冬二 [平・森]
- 「病院の『しくみ』と『ながれ』」/イノウ社会研究会 [十]
- 「昭和に学ぶエコ生活」/市橋芳則 [森]
- 「平安時代の納豆を味わう」/松本忠久 [雄]
- 「シネマ1 運動イメージ」/ジル・ドゥルーズ [雄]
- 「釣りキチ三平の釣れづれの記」/矢口高雄 [増]
- 「薄妃の恋」/仁木英之 [横・雄・森]
- 「人生の贈り物」/アレック・ロビラ [増]

◎児童向け・絵本

- 「クラスター爆弾なんてもういらない。」/清水俊弘 [横]
- 「おはなしできく名曲えほん」/おおたにみねこ [増]
- 「こはく色の目」/リッケ・ランゲベック [平・雄・森]
- 「しっばいにかんぱい!」/宮川ひろ [増・十]
- 「フリーターになるとどうなるの?」/内田正信 [雄]

『読書に関する作品コンクール』作品募集中!!
詳しくは最寄りの図書館までお問合せください。
※締め切り/11月14日(金)

題名

Blank lines for entering book titles.

市報を通じて皆さんに伝えたいことや聞きたいこと、日頃考えていることなどを「読者の声」としてお寄せください。

イベントカレンダー

11月1日～11月17日

11/1 (土)	よこて菊まつり(～11月9日、秋田ふるさと村ほか) 増田地域じまん市(～2日、10:00～、増田ふれあいプラザ駐車場)
2 (日)	
3 (月)	平鹿りんご味覚まつり(10:00～、ときめき交流センター『ゆっぷる』) 南部エリア秋の祭典(10:00～、南部エリア)
4 (火)	
5 (水)	●グラウンド・ゴルフ大会ラストコール杯 日 時/11月5日(水)7:30～8:30受付 場 所/大森グラウンド・ゴルフ場 参加費/500円 問合せ/大森地域局産業振興課 ☎26-2117
6 (木)	
7 (金)	霜月神楽(19:00～、波宇志別神社里宮神殿)
8 (土)	女性センター・横手中央公民館まつり(～9日、10:00～、市女性センター ※展示は7日から)
9 (日)	
10 (月)	●平成20年度県展入選者作品展 日 時/11月4日(火)～27日(木) 場 所/横手公園展望台 入場料/100円(4館共通チケット) 問合せ/横手公園展望台 ☎32-1096 横手地域局産業振興課 ☎33-7111
11 (火)	
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	
15 (土)	
16 (日)	横手市増田「民俗芸能フェスティバル」(13:00～、増田ふれあいプラザ)
17 (月)	

親子でござ

南部エリア無料映写会のお知らせ

- ◆上映時間/午後1時～
9日(日)「ルパン三世 お宝返却大作戦!!」 [92分]
- 16日(日)「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ!栄光のヤキニクロード」 [92分]
- ◆問合せ/南部エリア(大森町菅生田) ☎26-3880

Pick up

■11月16日(日) 第6回横手市増田 民俗芸能フェスティバル

増田地域には古くから続く民俗芸能がありますが、近年後継者不足などの課題を抱えています。地域の民俗芸能保存会では、芸能の保存・継承のため後継者育成に努めており、その成果を披露する『民俗芸能フェスティバル』を開催します。

各保存団体の協力を得て、普段は目にすることが難しい県内の7つの民俗芸能が披露されます。ぜひご来場ください。

- ◆日 時/11月16日(日)午後1時～4時30分(正午開場)
- ◆場 所/増田ふれあいプラザ(入場無料)
- ◆出演団体/八木番楽保存会(横手市増田)、福嶋サイサイ囃子保存会(同)、仁井田番楽保存会(横手市十文字)、八沢木獅子舞保存会(横手市大森)、雄物川町岡本新内保存会(横手市雄物川)、真山なまはげ伝承会(男鹿市)、切石郷土芸術振興会(能代市二ツ井町)
- ◆問合せ/増田地域センター(増田ふれあいプラザ内) ☎45-5556



Pick up

■11月7日(金)～8日(土) 保呂羽山の霜月神楽



真剣を使った「神入舞」

巫女による優美な舞

国指定重要無形民俗文化財『保呂羽山の霜月神楽』は、保呂羽山波宇志別神社に伝わる貴重な神事。1200年以上の歴史があると言われ、純神道の湯立神楽としては国内最古のものです。毎年、霜月(11月)7日の夕方から翌8日の朝にかけて、古式に則った三十三の神事が夜を徹して行われ、神に収穫を感謝し、来る年の豊穡を祈り神楽が奉納されます。

- ◆日 時/11月7日(金)午後7時～8日(土)午前6時頃
- ◆場 所/保呂羽山波宇志別神社里宮神殿
- ◆問合せ/市教育委員会文化財保護課 ☎24-3480

発行/横手市役所 ☎0182-35-2111(代)
編集・デザイン/総務企画部 市長公室
〒013-8601 横手市前郷字下三枚橋163
TEL:0182-35-2162 FAX:0182-33-6061
ホームページアドレス/http://www.city.yokote.lg.jp/